

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	7									
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	6	1		・4月の新入児での初めてのケア児を受け入れたのでまだわからない。						
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	5	2		・直接医師とは話し合っていないが相談員や保護者を通じて情報共有をしている。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	7									
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	7									
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	5	2								
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	5	1	1		12	2	2	13	・機会があるかはわからない。	
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	7									
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7				27	1	1		・丁寧な説明であった。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7			・入所前のアセスメントシートなどを確認し家族の意向を把握している。	26	2	1		・丁寧な説明であった。	
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	5	2			15	2	5	7	・行われていると思う。	・ペアレントトレーニング研修などは開催できていない。支援の内容を共有していくことは行っている。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	7				26	2	1		・できていると思う。	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	7				20	2	2	5	・行われていると思う。	・モニタリング時、送迎時やノートを介して相談を受けることがある。継続し相談しやすい環境づくりを行っていく。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	6	1			8	2	7	12	・支援されていると思う。	・参観型の保護者会を実施した。今後開催日の配慮をしながら保護者さん同士が交流することができる場を設けていきたい。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	7				22	2	1	4	・適切に対応されている。 ・説明もある。	・十分に話を聞くことができている場合もあると思われる。今後も寄り添った対応を行ってほしい。
	8 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	7				27	1	1		・配慮がある。	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	7				29				・発信されている。	
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	7			・名前の記入されている書類を破棄する際には必ずシュレッダーをかけて破棄している。	28			1	・十分説明されている	

